共通事項

建学の精神

豊かな知性と誠実な心を持ち 社会に貢献できる人材を育成する

3つのポリシー（2027年度入学者対象）

愛知産業大学は「建学の精神」に則り、育成すべき人材像を明確にし、資質・能力獲得のために適切なカリキュラム編成、体系的・組織的な教育活動、及びこれにふさわしい学生を受け入れるための入学者選抜の実施を目的に、3つのポリシーを策定しています。

アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

愛知産業大学では、各種産業に関する知識と学術を授けるとともに、専門の技能・理論を学び、応用に発展させる力をつけ、人格の完成を図り英知と勤勉さを高め、産業及び文化の発展に貢献する人材を育成しています。

そのために、基礎的な知識・教養を持ち、論理的に考え、他者とのコミュニケーションができること、そして自分の分野の専門知識・技能を身につけ、産業・地域・生活の発展に貢献でき、夢の実現に意欲をもつことが求められます。

したがって、文系や理系にとらわれず高等学校において幅広く学習し、コミュニケーション能力を備えていることを重視します。そのため入学試験では、文系・理系科目の基礎知識や能力を求めますが、知識を単に有することよりも、持っている知識を関連づけることや展開する能力を重視します。

●情報学部

情報学部では、情報技術を基盤として、産業・地域・生活における多様な課題の解決に貢献できる人材を育成します。そのために、情報技術に関する専門知識や技能の習得を目指し、情報技術を活用して社会や組織の課題解決に挑戦する意欲を持つことが求められます。

情報学部　知能情報学科

知能情報学科では、人工知能をはじめとする情報処理技術を活用し、IT産業及びものづくり産業における課題の発見・分析・解決や新たな技術・システムの創出に主体的に取り組む意欲を持つ人を求めます。そのため、次のような資質・能力を有する人を受け入れます。

・高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えていること。
・プログラミング、人工知能、データサイエンス、情報システムなどの情報科学や知能情報学の学修に強い関心を持ち、それらの知識・技能の習得に主体的に取り組む意欲を有していること。
・情報技術を活用して実社会における課題の発見や解決、新たな技術やシステムの創出に挑戦しようとする探究心を有していること。
・多様な人々と協働しながら学び、地域社会や産業界の発展に貢献しようとする意欲を有していること。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験や小論文、面接などの多様な入学選考を実施する。

情報学部　総合情報学科

総合情報学科では、情報技術及びデータ分析を活用して、組織や地域における課題の発見・分析・解決や新たな価値創出に取り組む意欲を持つ人を求められます。そのため、次のような資質・能力を有する人を受け入れます。

・高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えていること。
・物事を論理的に考え、自らの考えを表現するための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること。
・情報技術やデータ分析に関心を持ち、組織や地域における課題解決や新たな価値創出について主体的に学ぼうとする意欲を持っていること。
・情報技術やデータ分析を活用して、組織や地域等における課題の発見や解決に取り組もうとする探究心を持っていること。
・多様な人々と協働しながら学び、社会の発展に貢献しようとする意欲を有していること。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験や小論文、面接などの多様な入学選考を実施する。

●造形学部

造形学部では、産業・地域・生活における建築及びデザインという造形行為を通して、社会に貢献できる人材を育成します。そのために、専門知識・技能を身につけた職業人を目指して、よりよい生活環境を実現したいという意志を持つことが求められます。

造形学部　建築学科

建築学科では、建築に関する知識と応用力を活かし、豊かな地域と社会の創造と発展に寄与できる人材を育成するために、以下の能力・意欲を持つ人が求められます。

・高等学校の教育課程についての総合的な理解と大学教育を受けるにふさわしい基礎学力を備えていること。
・建築、都市、産業および社会全般に関心を持って主体的に学び、卒業後は社会に貢献したいという意欲を持っていること。
・身のまわりの観察や情報分析によって建築やデザインに関する問題発見・解決を図るうえで必要とされる探求心やコミュニケーション能力を持っていること。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験や小論文、面接などの多様な入学選考を実施する。

各入試における評価

評価の観点と項目 ／ 入試区分	知識・技能 各学科・科目の学習記録 全体の評定平均値 学科試験の得点 大学入学共通テストの得点 資格取得状況	思考力・判断力・表現力等 資格取得状況 面接試験の得点 小論文の得点 特別活動の記録 指導上参考となる諸事項 課外活動	行動力・協調性 特別活動の記録 指導上参考となる諸事項 課外活動 ボランティア活動 生徒会活動
学校推薦型選抜［指定校］	◎	◎	◎
学校推薦型選抜・公募［一般］	○	○	◎
学校推薦型選抜・公募［専門・総合学科］	○	◎	○
総合型選抜※	○	◎	◎
一般選抜・大学入学共通テストプラス入試	◎	○	○
大学入学共通テスト利用入試	◎	○	○

※社会人特別入試および地域人材育成入試を含む

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）

愛知産業大学では、各学部・学科の専門知識を修得する科目を設定すると同時に、人文・社会・自然、語学、情報、キャリア等の科目を体系的に編成し、主体的に学修に取り組むことが可能な、学部学科を跨いだ実践的な共通専門科目を設定しています。

●情報学部

情報学部のカリキュラムでは、情報科学および情報技術に関する専門知識を修得する講義、情報社会における多様な課題を対象として情報技術の活用を学ぶ実践的授業、ならびに修得した知識や技能を現実の問題に応用するための演習や課題解決型の授業を設定しています。

情報学部　知能情報学科

知能情報学科では、情報科学や知能情報学、さらには情報技術に立脚したものづくり関連技術に関する幅広い基礎知識を身につけると共に、その知識と技能によって地域社会や地域産業の活性化に貢献できる実践力を持った人材を育成するための教育課程を編成しています。

・専門的な知識を修得する基盤となり、社会で活躍するために必要な広い見識とコミュニケーション能力を身につけるための、人文科学、社会科学、自然科学および語学教育などの教養科目。
・情報処理のために不可欠なプログラミングや数学の基礎に加え、コンピュータのソフトウェア、ハードウェア、ネットワーク、データベース、セキュリティなど、情報科学の基礎科目。
・人工知能関連技術やその技術的応用方法など、知能情報学に関わる幅広い知識を提供する科目。
・データサイエンスの基礎に加え、様々なタイプのデータ処理・活用技術に関する科目。
・知能ロボットの制作など、実践的な課題に対する演習を通して、様々な情報システムをプロトタイピングするための応用技術を身につけるための科目。
・デザイン手法をベースとした課題発見・解決能力の育成を目的とした科目。
・ゼミナール、卒業研究などの能動的学習を実行する演習科目。

情報学部　総合情報学科

総合情報学科では、情報技術及びデータ分析を活用して、組織や地域における課題発見・分析・解決及び新たな価値創出に貢献できる人材を育成するため、以下の教育課程を編成しています。

・専門的な知識を修得する基盤となり、社会で活躍するために必要な広い見識とコミュニケーション能力を身につけるための、人文科学、社会科学、自然科学および語学教育などの教養科目。
・数理的素養及びデータサイエンス、情報ネットワーク、プログラミング、AI等に関する知識や技能を習得し、情報技術及びデータ分析を活用できる能力を養成する科目。
・情報技術及びデータ分析を活用した課題解決や新たな価値創出を企画・提案・推進する能力を養成する科目。
・ビジネスDX、ものづくりDX、デジタルゲーム、スポーツ・健康を対象領域として、情報技術及びデータ分析を活用した課題発見・課題解決を実践的に学ぶ科目。
・PBL（課題解決型学習）やゼミナール、卒業研究などの能動的学習を通して、課題発見力、課題解決力、協働力及び実践力を養成する演習科目。

●造形学部

造形学部のカリキュラムでは、造形に関する専門知識を修得する講義だけでなく、現代社会で行われている造形に関する建築実務、情報社会におけるデザイン実務の技能を修得する実技授業を設定し、専門知識を実践で確かめて広く共有するための演習授業を設定しています。

造形学部　建築学科

建築学科では、建築、都市、産業、芸術に幅広い関心をもち、伝統と革新の両面からの実践的な学修内容に重点をおき、多面的な建築課題を問題解決へと導くことで、豊かな地域社会の創造と発展に貢献できる人材を育成するための教育課程を編成しています。

・人文科学、社会科学、自然科学および語学教育などを基盤として，建築・地域・産業・芸術への興味・関心・疑問の喚起により社会事象への幅広く、深い興味・関心を育成し，修学意欲と問題解決力の向上を図る科目。
・建築士資格の指定科目を含む建築学諸領域の科目を体系的に配置して職能の社会的役割を理解するとともに、それらの建築に関する諸領域の知識・技術を伝統的なものづくり技術と最先端のデジタル技術の両面から身につける科目。
・設計製図・CAD・CGなどにより，建築を構想・図面化して他者にアイデアを伝えるビジュアライズ・コミュニケーション能力を涵養する科目。
・グループワーク、ワークショップ、卒業研究などにより、修得した知識を活用し、地域社会に貢献する意欲を養う科目。

ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）

愛知産業大学では、幅広い知識・教養を身につけ、豊かな感性を持ち、論理的に物事を考え、他者とのコミュニケーションができ、なおかつ専門的知識を身につけて、産業・地域・生活の発展に貢献できる就業力を持った者に対して学士を授与します。

●情報学部

情報学部では、高度化・複雑化する情報社会を背景として、情報技術を基盤とした知識と技能を体系的に身につけることを通して、産業・地域・生活における多様な課題の発見と解決に貢献できる者に対して、学士を授与します。

情報学部　知能情報学科

知能情報学科では、以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士（情報学）の学位を授与します。

・情報科学・知能情報学に関する基礎知識を修得している。
・コンピュータによる情報処理の原理や限界を理解している。
・基礎的なプログラミング技術やコンピュータシステム関連の知識を持っている。
・様々なシステムをプロトタイピングするための技術を修得している。
・人工知能（AI）やデータサイエンス等の分野を中心とした情報処理技術、さらにはものづくり関連技術も活用して、実社会の多様な課題を発見し解決するための知識を習得している。
・他者と適切にコミュニケーションを図りながら協働し、情報処理技術を活用した課題の発見・解決に取り組むことができる。
・情報処理技術の実践的な応用に自主的に取り組むことができる。
・豊かな地域社会の創造と発展のために、修得した知識を活用し、貢献する意欲を有している。

情報学部　総合情報学科

総合情報学科では、以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士（総合情報学）の学位を授与します。

・語学教育をはじめとする各教育で培ったコミュニケーション力をもとに、多様な社会や組織において他者と協働できる能力を身につけている。
・情報技術及びデータ分析に関する基礎的かつ実践的な知識や技能を身につけている。
・組織や地域における課題を発見し、データに基づいて分析する能力を身につけている。
・分析結果を踏まえ、組織や地域における課題解決や新たな価値創出に向けた企画・提案を行うとともに、情報技術の活用を推進する能力を身につけている。
・情報社会における倫理観と社会的責任を理解し、豊かな地域社会の創造と発展のために、修得した知識や技能を活用して貢献する意欲を有している。

●造形学部

造形学部では、産業・地域・生活における諸問題に関心を持ち、そこにあるさまざまな問題を発見し、建築及びデザインの実践的技能と知識を身につけて社会に貢献できる者に対して学士（芸術）を授与します。

造形学部　建築学科

建築学科では、以下の要件や能力を身につけ、所定の単位を修得した学生に、卒業を認定し、学士（芸術）の学位を授与します。

・学修した各教育で培ったコミュニケーション能力、問題解決能力をもとに、建築・地域・産業に関連する諸課題について主体的に取り組む力を有している。
・建築計画、環境・設備、構造・材料、歴史、法規、デザインなど、建築に関する諸領域の基本知識を修得していると共に、しっかりとした職業倫理を有している。
・建築に求められる創造力・構想力を有し、これを表現・伝達する能力を有している。
・豊かな地域社会の創造と発展のために、修得した知識を活用し、貢献する意欲を有している。

合否発表・入学手続・その他

合否発表

発表方法　補欠合格について

・合否結果は、インターネット出願システム上（要ログイン）で合格発表日の10:00に発表します。該当入試の第1次入学手続期日まで確認できます。
・合格者には合格通知書、入学手続書類等を郵送します。不合格者および欠席者には不合格通知を郵送しません。
・合否結果の問い合わせには一切応じません。

合格者の入学手続状況により後日入学を許可する可能性がある方には補欠通知書を郵送します。入学許可の通知期間については同封の書面にてお知らせします。ただし、入学手続状況によっては入学が許可されない場合もあります。
補欠合格者のうち入学を許可される方にはあらかじめ予告した日時に電話にてご連絡のうえ、合格通知書および入学手続書類を郵送いたします。また合格者の入学手続状況によっては不合格となった方を追加合格とする場合があります。

出身学校への結果通知

・利用目的を「進路指導に活用すること」に限定し、原則受験生の出身学校へ結果を通知します。

入学手続

入学手続

第1次手続
①入学金の納入

第2次手続
②入学金以外（前期授業料等）の学納金の納入
③誓約書（兼）身元保証書、写真などの提出

※第1次手続・第2次手続の表記がない入試は第1次・第2次同時手続です。
・合格通知同封の書類に従い、定められた期日までに入学手続を完了してください。
・指定期日までに手続が完了しない場合は、入学資格を失います。
・入学手続を完了した者には、入学手続締切後に「入学許可書」を交付します。

延納手続

・特別な事情がある場合は、第2次手続の延期を申請することができます。
入試区分および延納理由により、延期できる期日は異なりますので、まずは第2次入学手続期日までに入試課（☎0564-48-4804）までご連絡ください。
・許可された延納期限までに手続が完了しない場合は入学資格を失います。

入学辞退時の学納金の返還

・入学手続完了者が令和9年3月23日（火）17:00までに本学に入学辞退を申し出た場合、入学金以外の学納金等を返還します。
本学所定の「入学辞退届」および「学納金返還願」を提出していただきます。

その他

身体に障がいを有する者の出願

入学を志願する方で、身体に障がい（学校教育施行令第22条の3に定める身体障がいの程度）があり受験上および修学上の特別な配慮を希望される場合は各入試の出願期間開始日までに入試課（0564-48-4804）へご相談ください。

入試Q&A・学納金

出願に関するQ&A

インターネット出願後で、受験日や希望学科、選考方法の変更等はできますか？

インターネット出願後は入力事項の変更はできません。必ず確認画面にて入力事項を確認し、間違いのないよう入力してください。
また、一度提出された書類や納入された入学検定料は、いかなる理由があっても返還いたしません。

複数の入試区分に出願を考えています。出願用封筒は区分ごとに分けたほうがいいですか？また、調査書等はそれぞれ必要ですか？

出願期間が重複し、同一受験者であれば、一つの封筒に複数の区分の出願書類をまとめて送付できます。
その際は、それぞれの区分ごとにクリップ等で各書類をまとめてください。なお、同一封筒で書類を送る場合は、調査書は1通で結構です。

一般選抜の学科試験の科目はいつ選択しますか？

学科試験の選択科目は試験当日に選択します。

受験区分や選択科目で判定に有利・不利はありますか？

判定はそれぞれの区分ごとに行いますので、選択した区分による有利・不利はありません。また、選択科目による有利・不利もありません。

公募推薦は既卒でも出願できますか？（1年次入学のみ）

出身高校から推薦がもらえれば可能です。

初年度学納金

●【情報学部】知能情報学科／【造形学部】建築学科

納付金種別	年 額	分割納入		備 考
		前期分（入学手続時）	後期分（納付期限10月25日頃）	
入　学　金	280,000円	280,000円	―――	入学時のみ
授　業　料	800,000円	400,000円	400,000円	
教育充実費	400,000円	200,000円	200,000円	
実　習　費	100,000円	50,000円	50,000円	
計	1,580,000円	930,000円	650,000円	

上記の学納金の他、入学手続時に学生会費（8,500円）、校友会（同窓会）費（9,000円）、災害傷害保険料・健康管理料（3,500円）、防災備蓄品（20,000円）、卒業関連費用（30,000円）が必要です。
詳細は郵送する合格通知に同封される入学手続書類を確認してください。

●【情報学部】総合情報学科

納付金種別	年 額	分割納入		備 考
		前期分（入学手続時）	後期分（納付期限10月25日頃）	
入　学　金	280,000円	280,000円	―――	入学時のみ
授　業　料	700,000円	350,000円	350,000円	
教育充実費	400,000円	200,000円	200,000円	
実　習　費	50,000円	25,000円	25,000円	
計	1,430,000円	855,000円	575,000円	

上記の学納金の他、入学手続時に学生会費（8,500円）、校友会（同窓会）費（9,000円）、災害傷害保険料・健康管理料（3,500円）、防災備蓄品（20,000円）、卒業関連費用（30,000円）が必要です。
詳細は郵送する合格通知に同封される入学手続書類を確認してください。

奨学金制度

入学時奨学金

学業奨学金S　1年次 **40万円**を給付

学校推薦型選抜受験者のうち全体の評定平均値が4.2以上の方※1、もしくは一般選抜前期受験者のうち成績上位20%の方（申請者全員）※2

学業奨学金A　1年次 **20万円**を給付

学校推薦型選抜受験者のうち全体の評定平均値が3.5以上の方（申請者全員）※1、※2

一般入試特待生奨学金

一般選抜前期の最高成績者

知能情報学科・建築学科　1年次 **80万円**を給付

総合情報学科　1年次 **70万円**を給付

遠隔地支援奨学金　1年次 **10万円**を給付

出身校の所在地が愛知県外の方、もしくは通学に使用する最寄駅から名鉄藤川駅までの路線距離が60km以上の方（申請者全員）※2

スポーツ奨学金S　年額**50万円×4年＝200万円**を給付（定員あり）

該当クラブで特に顕著な実績を挙げ、かつ総合型選抜入試を受験した方が対象※2

スポーツ奨学金A　年額**30万円×4年＝120万円**を給付

該当クラブで顕著な実績を挙げ、かつ総合型選抜入試を受験した方が対象※2

スポーツ奨学金B　1年次 **20万円**を給付

該当クラブで顕著な実績を挙げ、かつ総合型選抜入試を受験した方が対象※2

スポーツ奨学金の基準

	硬式野球部（男子）	バレーボール部（男子）	ハンドボール部（男子）	アーチェリー部
S	都道府県大会出場校の上位校２０%以内の登録選手かつ本学監督がセレクションで指名した者			70mラウンド公認競技会（72射合計点）において、男子620点以上、女子600点以上を記録している者
A	都道府県大会出場校の上位校２０%以内の登録選手かつ本学監督がセレクションで指名した者			70mラウンド公認競技会（72射合計点）において、男子580点以上、女子560点以上を記録している者
B	本学監督がセレクションで指名した者			本学監督が指名した者

スポーツ奨学金S・Aは最長4年間給付されますが、2年次以降の給付継続には毎年決められた出席率、取得単位数、GPAが必要となります。
入学時奨学金は2027年度入学生が対象です。

※1「全体の評定平均値」とは全日制高等学校が発行する調査書に記載の「全体の評定平均値」
※2 出願の際に、インターネット出願システム上で希望する奨学金を選択して、申請してください。

在学時奨学金

学業優秀奨学金S　採用時 **30万円**を給付

前年度のGPA上位5%以内の方

学業優秀奨学金A　採用時 **15万円**を給付

前年度のGPA上位5%超から15%以内の方

学業優秀奨学金B　採用時 **10万円**を給付

前年度のGPA上位15%超から25%以内の方

活動奨励奨学金　採用時 **10万円**を給付

地域活動・ボランティア・スポーツなどにおいて顕著な実績を挙げた者（2～4年）

資格取得奨励奨学金　**検定料**を給付

対象となる資格・検定試験に合格した者（申請者全員）

経済支援奨学金　該当年度に納入すべき学納金の **50%**を給付

勉学の熱意があるが、経済的な困窮によって学生納付金の納入が困難な日本人学生（２０名以内）

本学は日本学生支援機構（JASSO）の「高等教育の修学支援新制度」の対象校です

本学は高等教育の修学支援新制度の対象校に認定されています。一定の家計基準や学修意欲等の要件を満たす方は授業料等の減免および返還不要の給付奨学金による支援を併せて受けることができます。制度の詳細や申請手続きにつきましては日本学生支援機構（JASSO）のウェブサイトをご覧いただくか、在籍されている高等学校等へお問い合わせください。